

製品名: CARM1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80938**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	65kDa

抗原情報

遺伝子名	CARM1
別名	PRMT4; CARM1
遺伝子 ID	10498.0
SwissProt ID	Q86X55
免疫原	大腸菌で発現したヒト CARM1 の精製された組み換え断片。

背景

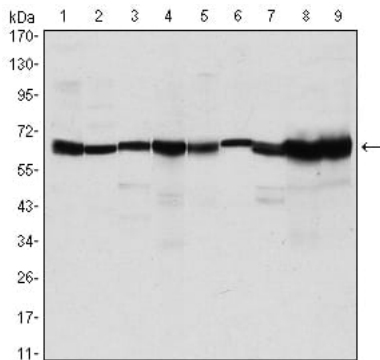
CARM1 などのタンパク質アルギニン N-メチルトランスフェラーゼは、S-アデノシル-L-メチオニンからタンパク質中のアルギニン残基の側鎖窒素へのメチル基の転移を触媒し、メチル化アルギニン誘導体および S-アデノシル-L-ホモシステインを形成する。タンパク

質アルギニンのメチル化は、シグナル伝達、新生プレ RNA の代謝、および転写活性化に関与することが示唆されている (Frankel et al. 2002 (PubMed 11724789))。組織特異性: 前立腺腺癌および高悪性度前立腺上皮内腫瘍において過剰発現する。

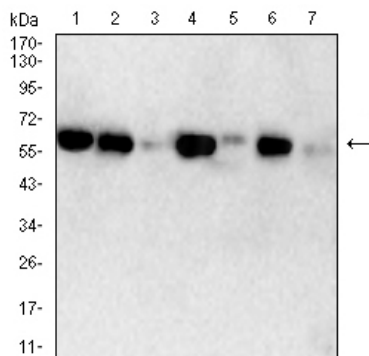
研究分野

-

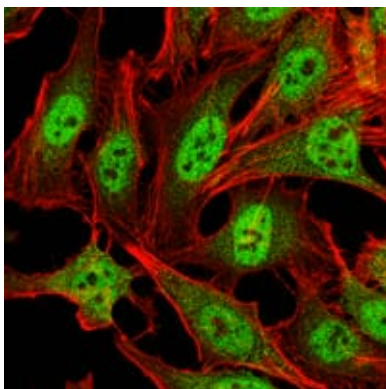
画像データ



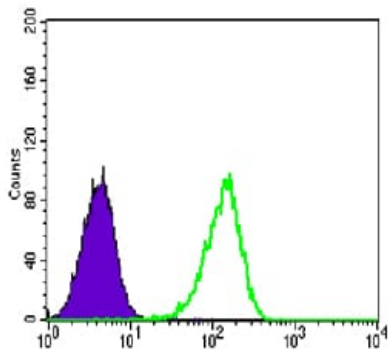
MCF-7 (1)、Hela (2)、NIH/3T3 (3)、HL-60 (4)、LNCap (5)、Jurkat (6)、PC-3 (7)、Cos7 (8)、および PC-12 (9)細胞溶解物に対する CARM1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



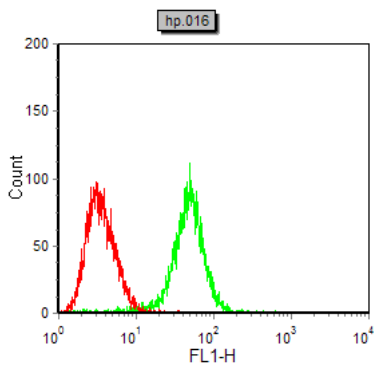
CHO3D10(1)、COS-7(2)、F9(3)、L1210(4)、C2C12(5)、NIH/3T3(6)、マウス肝臓(7)細胞溶解物に対する CARM1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



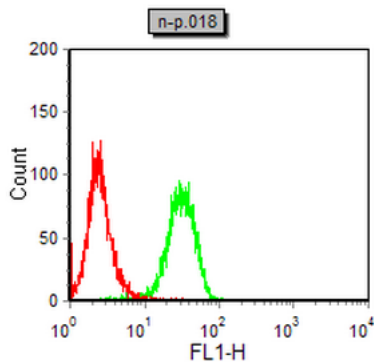
CARM1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



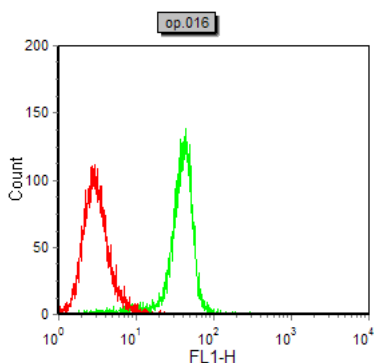
CARM1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Lovo 細胞のフローサイトメトリー分析。



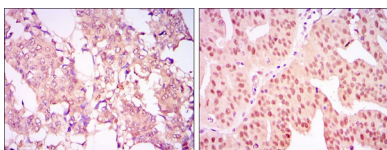
CARM1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



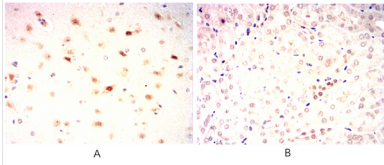
CARM1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



CARM1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。



CARM1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん組織 (左) と卵巣がん組織 (右) の免疫組織化学分析。



CARM1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス脳 (A) マウス腎臓 (B) の免疫組織化学分析。